

一般角 (1)

一般角とは？

講師
水谷信也

世の中には、同じことが何回も繰り返されるものがあります。たとえば時計の針、観覧車などのように何回も回転するようなものです。ある点を中心とした回転の量の表し方について学びましょう。

学習のポイント

- ① 一般角を考える必要性とは？
 - ② 始線と動径
 - ③ 正の向きと負の向き
-

一般角を考える必要性とは？

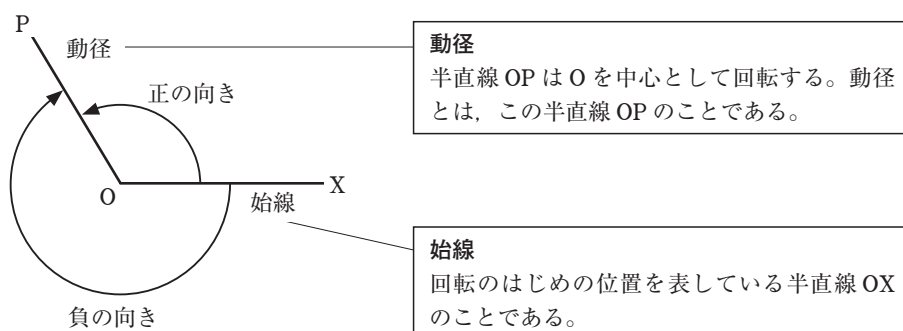
角を回転の利用と考えると？

時計の針と逆の向きに何回も回転 ⇨ 360° より大きい角を考える必要性

時計の針と同じ向きに回転するのか逆の向きに回転するのか？

⇨ 負の角を考える必要性

始線と動径



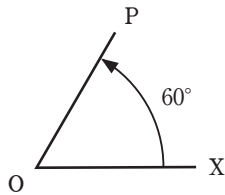
正の向きと負の向き

回転には2つの向きがあり、時計の針の回転と逆の向きを正の向き。時計の針の回転と同じ向きを負の向きとする。

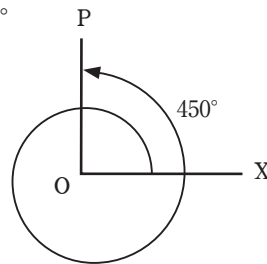
角を回転の量として捉えると、 360° よりも大きい角や、 -60° などの負の角も考えることができる。このように拡張して考えた角を一般角という。

一般角の動径 OP を図示してみよう。

(1) 60°

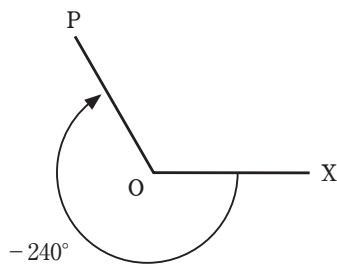


(2) 450°



正の向き……時計の針の回転と逆の向き

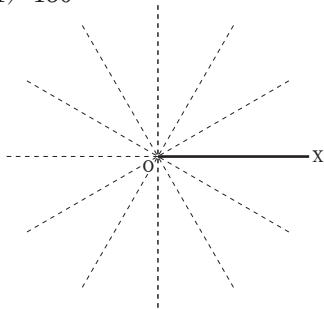
(3) -240°



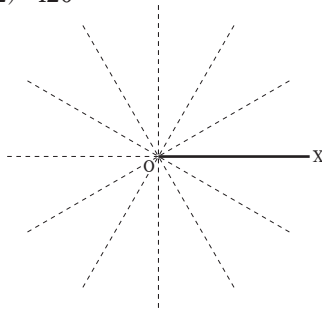
負の向き……時計の針の回転と同じ向き

問 次の角の動径 OP を図示しなさい。

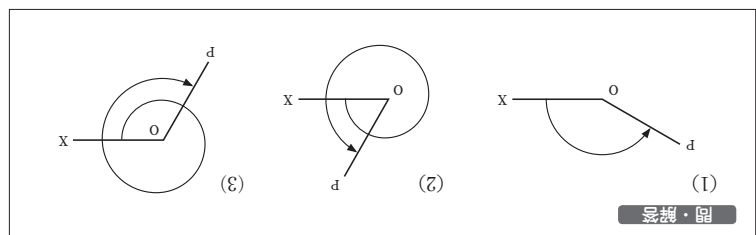
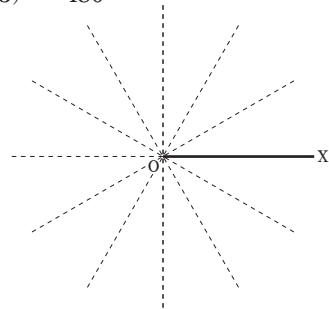
(1) 150°



(2) 420°



(3) -480°



図解・図